

毎週日曜発行
2022 2/6

こども新聞 週刊がほピョンプレス

がほピョンプレス



河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

みんな 子ども だった!?

22

隊列になって大空を飛び、スモークで絵を描く航空自衛隊松島基地(東松島市)の曲技(アクロバット)飛行チーム「ブルーインパルス」。昨年夏の東京オリンピック(五輪)、パラリンピック開会式でも大活躍したね。6番機のパイロット真鍋成孝さんに、子ども時代や訓練について聞いたよ。

◇ 4人きょうだいの末っ子で自由に育ちました。縛られるのは嫌で、負けず嫌い。姉にオセロで負けると、盤をひっくり返

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

秒単位の訓練生活で成長

す子でした。小学2年かからやっていたサッカーも練習をサポートしてばかりでしたが、母に「やりたくないならやめなさい」と言われ、逆にやめたくなくなっていました。

高校3年の夏、同級生が防衛大学を受験する

と聞き、自衛隊に興味を持ちました。乗り物が好きで「パイロットなら3次元を自由に動ける」と、高校卒業後にパイロットになれる航空学生

の試験を受けましたが不合格。別な試験に受かって入隊後に再挑戦し、20歳で航空学生に。待っていたのは想定外の厳しい訓練生活でした。

掃除の仕方や制服のアイロンがけなど24時間の生活すべてが訓練。決まった時間内にやるべきことをやらないといけません。秒単位で動かないと食事の時間もありません。勉強もしなくてはなら

派手な印象があるパイロットは、実は地味な仕事。航空機の模型を片手に機体を正しく飛行させるイメージトレーニングを重ねました。



まなべ・なりたか 福岡県出身。2005年航空自衛隊入隊。11年にパイロット資格(しかく)を取り、20年からブルーインパルス6番機操縦士。1等空尉(くうい)。

真鍋 成孝さん(35歳・ブルーインパルスパイロット)

ず、食事の合間や寝る時間にこっそり勉強しました。自由奔放な性格にはきつかったけれど、負けず嫌いもあってやめようとは思いませんでした。



当時は意味が分かりませんでした。音速で動く航空機の操縦は1秒遅れても大変な事態になりかねず、正確な時間で動くことが不可欠。厳しい訓練を経験したから、今パイロットをやりたいという気がします。与えられた答えでは深みがない。自分で意味を気付けないことだったのではないのでしょうか。

今週の注目ニュース

◇8日(火) 針供養
縫い物など針を使った仕事をこの日は休み、針の日のごろの頑張りに感謝する習慣だよ。古くなくたり折れたりした針を豆腐やこんにやくに刺して供養するんだ。12月8日に行う地域もあるよ。

きょうの紙面

- 2面 ホップ・ステップ・プログラミング
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7・8面 投稿特集